

# Androidは虎の夢を見るか？

富永 勉@FLOSS桜山

# そもそも虎って？

- Java SE 5のコードネームがTiger=虎でした
- Androidでアプリ開発するには、Javaで書くのが基本になるわけですが、どれぐらいTigerで導入された機能を使えるのでしょうか？

# AndroidでのJavaの扱いは？

- AndroidアプリケーションはJava言語で書かれています。が、Javaの書き方を使っているだけとイメージしよう
- Dalvik VM上で動作します。
  - 同じJavaの書き方をしますが、Java SE/MEとの互換性はありません
  - Java SE 5相当の機能は使えます

# AndroidはTigerの夢を見るか？

- AndroidのVMはHarmonyベースです。つまりJava SE 5相当です
- 当然できること・できないことがありますので、検証してみました

# タイプセーフenum

- Java5のタイプセーフenumがそのまま使えます
- methodやfieldの追加もできますので、定型処理の隠蔽やなんかにどうぞ!

# アノテーション

- 残念ながらアノテーションは実行時読取ができません
- 実行時読取が使えないため魅力半減...
- Forumではアノテーションもサポートしたい旨が出ていますので、今後に期待です

# ジェネリクス

- Java 5のジェネリクスがそのまま使えます
- キャストを無くして、保守性を上げましょう

# 拡張for文

- Java 5の拡張for文がそのまま使えます
- 配列でもコレクションでも使えます
- でも動作速度を考えると、ランダムアクセスするコレクションに対して、拡張for文で扱うのはオススメしません...

# オートボクシング

- Java 5のオートボクシングがそのまま使えます
- 便利ですが、意図しないAPIを呼ぶケースもありますので注意(特にコレクションの追加・削除)

# 最後に...

- まだまだAndroidのAPIは安定していません
- 代表的なところだと、ダイアログをオープンするAPIやURI表現のクラスがm5で大きく変わっています
- 削除されたAPIはdeprecatedにもならず、削除されています...
  - メソッドだけでなく、クラス自体も削除されたり